

風力発電の話があるが、あの辺りは雪質はよいのでスキー場が出来れば観光を兼ねた人の出入りがあるようになる。自然を活用することを考えては。

風力発電は地元の理解と協力体制をとって頂いている。事業が実施されれば、今後の活用としては想定でき、課題として研究したい。段が峰は県の中央部で関心が高いのでうまく利用していきたい。

粟鹿山、朝来山、段が峰、青倉山、行者岳、東床尾、西床尾、700m以上の山は朝来市に7つある。朝来市の案内マップを作って観光客を誘致。また、神社、仏閣、史跡、温泉、公園、天然記念物などをマップにして、朝来市に入る道路から、どういうコースをとれば全部回れるかを考え、遊歩道など整備しては。

坂根の谷を利用して、山の木、薬草などを一箇所に集めて山菜の里としては。そこに行かなければ食べられない山菜料理などを出すレストランを作り、炭焼きの実演、養蚕など過去に忘れられたものを利用できないか。

700〜800万人の団塊の世代が退職年齢になる。都会では社会的な問題になりつつある。朝来市は一つ受け皿として準備しなければならぬと思う。条件が整っている部分もあり、うまく活用しながら癒しの空間として提供していければと思う。これからはこういうことが癒しの対象になると思う。

教育

子供の学力の低下が心配である。

また、子供の体育、クラブ活動の指導者は大変だと思う。ボランティアでされているが、市として半分でも経費など持つて頂けたらと思う。何らかの支えが必要では。

生涯学習推進委員を全行政区に置いた。子供がここに生まれてよかったと思えるまちづくりは学校だけでは出来ない。PTAや地域と一緒に育っていくことが大事。学力の低下は統計的に出ており、中でも読解力の低下が言われている。市内の幼稚園では先生の言うことをよく聞く習慣づけに取り組んでいる。それを続けることが、読解力

を生むことにつながる。市ではジュニアスポーツの振興のため、県や全国大会などの上部大会に出場する時は監督やコーチの旅費、バス代などを負担する制度があり、各クラブで利用頂いている。

少子化によって児童数が減少している。小学校の統合をすべきと思う。地域から小学校がなくなることは大変さびしいが、子どもたちの環境にとってはそれの方がベストではないか。市として小学校の統合を考えているのか。

栃原小学校と生野小学校が統合した。統合までに3年の協議期間をもった。保護者の意見と地域の意見があり、十分に意見を聞きながら考えていきたい。子ども達にとつてどういう教育が一番よいのが肝心である。

教育は、機会均等が大きな要素であり、どの地域でも同じ条件、同じ環境で教育を受けられることが大事。一定の規模を持った学校環境の中の教育が効果、効力を得るには欠かせない。そのことから時期を見据えながら統合も考えざるをえない。少人数教室など小規模な学校の特長を持

たせる方法もあるので、そのことも含めて地域での状況を見ながら考えたい。

市の奨学資金を作っていたきたい。

大学等で勉強をしたい場合、市の援助を受けて就学し、卒業したら朝来市に帰ってくるというような助成があればよい。

朝来市として誇れる人材を育てていく上で教育は重要である。それぞれの学校で考えていただき、教育委員会も手助けしていきたい。

子ども達の学習、スポーツ振興に対する支援、投資については奨学資金制度を含めて幅広く検討する課題である。どうして朝来市に戻ってきてもらうかということであるが、就労機会を確保し、住み良いまちにしていきたいことが一番の近道である。

市独自の教育改革、人材育成をしてほしい。例えば、海外で活躍するような有名なスポーツ選手がいると出身地に税金が入ってくる。市が人材育成の資金を確保して朝来市から素晴らしい人間がたくさん出るように朝来市独自のこ

とを考えていただきたい。若者が一生懸命がんばれるような、高校スポーツの充実を。

小学生では山東のミニバスケット、和田山のハンドボール、生野のソフトテニス、剣道では生野高校の女子生徒など、活発に展開していただいております。高校でも一定のスポーツに特化して高校の名前を売っていくことも、学校、教育委員会等で検討いただいている。

幼稚園と保育所が一体化されると聞いたが。

国は幼保施設の一体化、統合の具体的な検討をしており、国の方向が示されると市でも幼稚園と保育所を一体化していく方向で具体的に考えていかざるを得ない。山東の場合は私立の保育園、公立の幼稚園という問題もあるが、充分議論をいただく必要がある。

安心・安全

近く起きる東南海地震について総合防災システム等どのような対策を取られているのか。災害弱者を含めた訓練が